

## 監事監査報告書

令和5年6月5日

社会福祉法人楽久園会

理事長 上野 仁久 様

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### ① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

#### ② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監 事

藤 井 正 

監 事

中 塚 保 彦 

## 意見書

- 1, 特養建替えについては、令和4年4月末の完成となり、利用者の皆様は5月から新しい施設での生活がスタートしています。今回の建替えに当たり多額の減価償却積立金を取り崩し、また借入金もあり、施設運営に関しては厳しい状況が考えられる。そのような中で、財源確保ならびに、適切な運営に努め、今後の建て替えに向け、減価償却積立金を確保していただきたい。
- 2, 昨年度は新型コロナウイルス（COVID-19）のクラスターが発生し、休業を余儀なくされています。またウクライナ情勢による物価高騰の影響もあります。令和4年度の決算報告は、資金収支差額の割合が下がっており非常にきびしい運営となっている。利用者の確保が重要であり、利用者及び家族の皆様から楽久園を選んでよかったと、喜んでもらえる施設を目指し取り組んでいただきたい。
- 3, 社会現象の中で、人口減少が取り上げられています。地方においても高齢者の減少、また子どもの数も減少しているのが現状です。そのような中ではあるが、高齢者施設又こども園としてのサービスの質の向上に努め、利用者数の増加を図り、適材適所となる人材を確保し、地域に根差した運営に努めていただきたい。